

## 平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐藤 大央

TEL 03-5940-2215

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年9月期第1四半期の業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	985	△10.1	89	255.5	91	265.4	89	180.8
23年9月期第1四半期	1,096	0.2	25	△49.0	25	△48.6	31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	1,570.26	1,570.26
23年9月期第1四半期	563.89	562.76

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年9月期第1四半期	2,490		1,350		54.1	
23年9月期	2,079		1,260		60.5	

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 1,347百万円 23年9月期 1,257百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—				
24年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	△12.0	100	28.2	100	28.4	90	69.2	1,576.18
通期	3,800	△9.4	200	59.8	200	58.7	180	—	3,152.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	57,100 株	23年9月期	57,100 株
24年9月期1Q	— 株	23年9月期	— 株
24年9月期1Q	57,100 株	23年9月期1Q	56,628 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては[添付資料]P. 3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) セグメント情報等 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7
5. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8
(2) 各会計期間における予算対比について .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の落ち込みから着実に回復傾向にあるものの、欧州の財政危機による円高の長期化や米国経済の停滞などにより、景気の下振れリスクを抱えた先行き不透明な状況にあります。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、在庫の調整等により生産回復の兆しが見受けられましたが、景気の先行きが不透明な状況のため一部研究開発費の削減や採用の抑制が続いております。

当社の営む人材アウトソーシング事業におきましては、景気の後退に伴い顧客企業との派遣契約の打ち切り、派遣料金の引下げおよび稼働時間の短縮等、非常に厳しい外部環境となっております。

このような状況の中、当社におきましては、引き続き人材の育成に注力し、付加価値の高い人材サービスの提供をすることで顧客企業のニーズに対応すると共に、営業力の強化を重点課題に揚げ、サービスの充実および派遣率の向上に努めてまいりました。

売上高につきましては、受注環境が緩やかに回復し稼働率が徐々に改善してきており、前年同期は下回ったものの、ほぼ計画通りの推移となりました。

営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、前事業年度に行った支店の閉鎖移転・一棟寮の解約による費用の圧縮および前事業年度から引続き費用の抑制を行ったことにより、計画以上の効果を得ることができ増益となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高985百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益89百万円（前年同期比255.5%増）、経常利益91百万円（前年同期比265.4%増）、四半期純利益89百万円（前年同期比180.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の分析

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は2,490百万円（前事業年度末は2,079百万円）となり410百万円増加いたしました。

##### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,354百万円（前事業年度末は1,931百万円）となり423百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

##### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は135百万円（前事業年度末は148百万円）となり12百万円減少いたしました。

主な要因は、敷金及び保証金の減少によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債の残高は1,140百万円（前事業年度末は819百万円）となり320百万円増加いたしました。

##### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は717百万円（前事業年度末は549百万円）となり168百万円増加いたしました。

主な要因は、借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は422百万円（前事業年度末は270百万円）となり152百万円増加いたしました。

主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,350百万円（前事業年度末は1,260百万円）となり89百万円増加いたしました。

要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期の業績につきまして、現時点では、平成23年10月31日に公表しました内容に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減却償却の算定方法

定率法を採用しているものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	859,754	1,638,819
受取手形及び売掛金	525,620	522,037
関係会社短期貸付金	500,000	149,999
その他	50,067	43,947
貸倒引当金	△4,134	△203
流動資産合計	1,931,309	2,354,600
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,233	4,596
工具、器具及び備品（純額）	12,302	11,181
有形固定資産合計	16,536	15,777
無形固定資産		
投資その他の資産	38,617	35,524
投資有価証券	0	0
敷金及び保証金	92,684	83,062
その他	634	1,396
投資その他の資産合計	93,319	84,458
固定資産合計	148,473	135,761
資産合計	2,079,782	2,490,361
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	165,000
1年内返済予定の長期借入金	—	40,000
未払金	38,098	47,278
未払費用	251,991	271,040
未払法人税等	10,177	3,868
未払消費税等	27,355	29,436
賞与引当金	170,317	78,170
その他	51,145	82,538
流動負債合計	549,086	717,334
固定負債		
長期借入金	—	160,000
退職給付引当金	266,441	258,990
その他	3,759	3,880
固定負債合計	270,200	422,870
負債合計	819,287	1,140,205

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,400	869,400
資本剰余金	346,356	346,356
利益剰余金	41,595	131,257
株主資本合計	1,257,352	1,347,014
新株予約権	3,142	3,142
純資産合計	1,260,494	1,350,156
負債純資産合計	2,079,782	2,490,361

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,096,121	985,168
売上原価	876,018	727,878
売上総利益	220,102	257,290
販売費及び一般管理費	194,857	167,557
営業利益	25,244	89,732
営業外収益		
受取利息	0	1,148
貸倒引当金戻入額	—	3,931
助成金収入	—	2,133
その他	585	735
営業外収益合計	586	7,947
営業外費用		
支払利息	296	153
支払手数料	—	3,863
その他	359	1,686
営業外費用合計	656	5,703
経常利益	25,174	91,977
特別利益		
受入助成金	14,311	—
事業構造改善費用等戻入益	36,665	—
その他	16	—
特別利益合計	50,992	—
特別損失		
雇用調整支出金	19,181	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,966	—
特別損失合計	22,147	—
税引前四半期純利益	54,019	91,977
法人税、住民税及び事業税	2,066	2,315
法人税等調整額	20,021	—
法人税等合計	22,087	2,315
四半期純利益	31,931	89,661



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	939,060	110,442	46,618	1,096,121
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	939,060	110,442	46,618	1,096,121
セグメント利益又は損失(△)	24,551	△586	1,279	25,244

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	862,737	122,431	—	985,168
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	862,737	122,431	—	985,168
セグメント利益	80,563	9,169	—	89,732

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### (1) 生産、受注及び販売の状況

#### ①生産実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、提供するサービスの性格上、生産実績に馴染まないため、当該記載を省略しております。

#### ②受注実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、受注時の業務量がその後の顧客の要望に合わせて変更することが多く受注状況を性格に把握することが困難であるため、当該記載を省略しております。

#### ③販売実績

事業部門	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		前事業年度	
	(自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)		(自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)		(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
エンジニアアウトソーシング事業	939,060	85.7	862,737	87.6	3,633,812	86.6
N&Sソリューション事業	110,442	10.1	122,431	12.4	454,419	10.8
ビジネスソリューション事業	46,618	4.2	—	—	108,427	2.6
合計	1,096,121	100.0	985,168	100.0	4,196,658	100.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

### (2) 各会計期間における予想対比について

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	950	50	950	50	960	45	940	55	3,800	200
決算値 (B)	985	91								
達成率 (B/A)	103.7	184.0								
(ご参考) 前期実績 (平成23年9月期)	1,096	25	1,063	52	1,047	29	989	18	4,196	125
前年同期比	89.9	365.4								

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。